

# OPEN CAMPUS 2013

オープンキャンパス 2013  
入退場自由・予約不要

## 犬山キャンパス

経済学部、経営学部、法学部  
人間生活科学部 教育保育学科・管理栄養学科  
短期大学部 保育科

●9:30受付開始

6/9<sup>日</sup>・7/27<sup>土</sup>・28<sup>日</sup>

8/24<sup>土</sup>・25<sup>日</sup>

9/29<sup>日</sup>

大学祭(名経祭)と同時開催

10/12<sup>土</sup>・13<sup>日</sup>

11/17<sup>日</sup>

6/9<sup>日</sup> カリスマ講師来たる!!

林修先生 講演会

「いつやるか? 今でしょ!」



## 2014年(平成26年)度入試日程

※選考方法については、「2014年度入学試験要項」にてご確認ください。

### ■ 大学・短期大学部

入試区分	学部・学科	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日	
AO	経済学部、経営学部、法学部 人間生活科学部 教育保育学科・管理栄養学科 短期大学部 保育科	I期 エントリー	平成25年 6月 9日(日)～ 9月 6日(金)	9月14日(土)	9月17日(火)
		正式出願(専願)	平成25年 9月18日(水)～ 9月24日(火)		10月 4日(金)
		II期 エントリー	平成25年 9月25日(水)～10月13日(日)	10月19日(土)	10月22日(火)
		正式出願(専願)	平成25年10月23日(水)～10月28日(月)		11月 8日(金)
		III期 エントリー	平成25年11月 6日(水)～11月22日(金)	11月30日(土)	12月 3日(火)
		正式出願(専願)	平成25年12月 4日(水)～12月 9日(月)		12月20日(金)

※その他、AO入試(Ⅳ・Ⅴ期)、学力入試、センター試験利用入試も実施します。

入試区分	経済学部	経営学部	法学部	人間生活科学部		短期大学部	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日					
				教育保育学科	管理栄養学科					保育科				
公募制推薦	I期	○	○	○	○	○	平成25年10月 8日(火)～10月23日(水)	11月 2日(土)	11月 8日(金)					
										A方式(基礎力テスト型)	○	○	○	○
										B方式(小論文型)	○	○	○	○
										C方式(基礎力テスト+面接型)	○	○	○	○
										D方式(小論文+面接型)	○	○	○	○
	E方式(自己PR型)	○	○	○	○									
	II期	○	○	○	○	○	平成25年11月19日(火)～12月 9日(月)	12月15日(日)	12月20日(金)					
										A方式(基礎力テスト型)	○	○	○	○
										B方式(小論文型)	○	○	○	○
										C方式(基礎力テスト+面接型)	○	○	○	○
D方式(小論文+面接型)										○	○	○	○	
E方式(自己PR型)	○	○	○	○										
プラチナ奨学生選抜	○	○	○	○	○	平成25年11月19日(火)～12月 9日(月)	12月15日(日)	平成26年1月31日(金)						

### ■ 大学院

研究科	専攻	試験会場	課程	入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
法学	企業法学	名駅サテライトキャンパス	博士後期	I期	平成26年 1月 6日(月)～ 1月14日(火)	2月 8日(土)	2月12日(水)
	法学		修士		平成25年 8月12日(月)～ 8月20日(火)	9月 7日(土)	9月11日(水)
会計学	会計学		博士後期	I期	平成26年 1月 6日(月)～ 1月14日(火)	2月 9日(日)	2月12日(水)
			博士前期		平成25年 8月12日(月)～ 8月20日(火)	9月 8日(日)	9月11日(水)
人間生活科学	幼児保育学	犬山キャンパス	修士	I期	平成25年 8月21日(水)～ 8月29日(木)	9月15日(日)	9月20日(金)
	栄養管理学						

※上記各研究科・専攻の入試には、推薦、一般、社会人、外国人留学生の入試区分があります。

※法学研究科(修士課程)、会計学研究科(博士前期課程)では、II期試験(2月)、人間生活科学研究科では、II期試験(2月)、III期試験(3月)も実施します。

## 学校法人市邨学園教育研究充実寄附金に関する税額控除制度の適用について

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、100年積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。

本法人は、特定公益増進法人の認定に加え、新たに個人からのご寄附に関する所得税の税額控除の対象法人となるべく、文部科学省に証明申請を行っております。本法人の「税額控除制度」の適用に係る事項につきましては、

証明を受けた場合、追って詳細をご案内申し上げます。

なお、認定を受けると、学校法人に対する寄附金控除により、これまでより多くの所得税の還付を受けることも可能となりますので、その際には引き続きご厚志を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

寄附金に関する照会・連絡先 学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当)  
TEL 052-853-0047(代表)

MEIKEI

あなたのご意見をお聞かせください

「名経大通信」Vol.44について、ご意見や感想などございましたら、企画広報室(右記連絡先)までお聞かせください。

MEIKEI 名経大通信 Vol.44 平成25年5月17日発行 名古屋経済大学・短期大学部 〒484-8504 犬山市内久保61-1 TEL 0568-67-0511(代) http://www.nagoya-ku.ac.jp/

企画広報室 TEL 0568-67-0624 FAX 0568-67-0724 ●お返事は必ず「名経大通信」宛にお願いします。

# MEIKEI

名経大通信 Vol.44  
2013.5.17  
名古屋経済大学  
名古屋経済大学短期大学部



## 平成24年度 卒業証書・学位記授与式

3月18日(月)、名古屋経済大学・短期大学部および大学院の卒業証書・学位記授与式が賑やかな雰囲気の中、執り行われました。開式の辞、大学歌斉唱に続き、この日卒業を迎えた473名に卒業証書・学位記が授与されました。佐々木学長は告辞として、「今、皆さんは人生の一つの大きな節目を迎えています。この時にあたって改めてこれまでの道のりを思い起こし、門出の抱負を新たにしてください。人生の節目において思いを新たにすることは、その先の人生の充実につながるからです。この大学で学んだ数々が、友人たちと共にした経験の数々がこれからの人生において皆さんを支え、励ます力になることを心から願います」と述べられました。また、犬山商工会議所の日比野会頭からもご祝辞をいただきました。



犬山商工会議所 日比野会頭による祝辞



学生を代表して「卒業生の言葉」を述べる一田さん



卒業式を終え笑顔で写真に収まる卒業生

## 自分の希望する企業に就職できました

入学した当初、4年間は長く感じるのではないかと思いましたが、あっという間に過ぎていったように思います。

大学生活では、勉強だけでなく部活動とアルバイトに一生懸命取り組みました。部活動とアルバイトをすることによって老若男女を問わずさまざまな人と知り合うことができ、人間関係が広がったように感じます。また、接客をする仕事をしていたおかげで、人見知りだった私がいま人見知りをしなくなり、人と接することが好きになりました。「人と接する仕事に就く」という目標もでき、営業や接客業を念頭において就職活動を行いました。その結果、自分の希望する企業に就職することができました。

3月に入って研修が始まり、初めはわからないことばかりで大変でしたが、現在は楽しんで仕事をしています。4月からは本格的に正社員として働く予定ですので、くじけずに頑張っていきたいと思っています。

株式会社亀屋芳弘  
長谷川 拓也さん 経済学部 卒業



## 就職活動をサポートしてくれたキャリアセンター

私は大学に入学してから勉強、弓道部での活動、就職活動といった、さまざまな経験を積むことができましたが、それらは多くの面で大学のバックアップがあったからだと思います。特に、就職活動では多くのお力添えをいただきました。就職活動の開始が4年生の秋頃と、かなり遅いスタートで自分自身にかなり焦りがあり、当初は右往左往しているだけの状態でした。そんな中でキャリアセンターに相談しに行ったところ、「まだこの時期なら全然大丈夫」と、履歴書の書き方や筆記試験対策、面接試験の練習などを親身になって指導してください、遅れながらも充実した就職活動を行うことができました。結果、複数の企業から内定をいただき、最終的に自分が望んだ就職先からも内定をいただくことができました。

私は4月から社会人として、何もかも自分の責任と判断で動いていかなければなりません。後輩の皆さんはまだ大学のバックアップを受けられます。何か困ったことがあったら、迷わず大学に相談してみてください。

株式会社東海クボタ  
平野 純一さん 経営学部 卒業

## 勉強とアルバイト、地域貢献の三本柱を経験

この4年間は、大学では、将来のための勉強。地元では、アルバイトで社会勉強。そして、自分のやりたかったことの一つ、地域貢献活動(地元の消防団に入団)の三本柱で過ごしてきました。良いことも悪いことも、今思えば良い経験であり、良き思い出です。アルバイトと消防団では、与えられた仕事を懸命にこなし、自分のできることを積極的に行いました。大学では、将来のためにさまざまな企業展に参加し、キャリアセンターにも積極的に足を運んで相談した結果、自分の就きたい職が見つかりました。就職活動も三本柱のおかげでスムーズに進み、今までの努力は無駄ではなかったと実感できました。

社会人になったら、この経験を仕事に生かし頑張っていこうと思います。最後にお世話になった方々に、「ありがとうございました」と感謝の気持ちを伝えたいと思います。

中京総合警備保障株式会社  
丹村 優介さん 法学部 卒業

## 深い絆で結ばれた仲間と過ごした4年間

大学生活の4年間はあっという間でした。しかし、内容はとても濃く、素晴らしい先生方や仲間たちに出会うことができ、名古屋経済大学に入学してよかったと感じています。私が在籍した人間生活科学部教育保育学科は、他の学部、学科に比べて少人数です。少人数だったからこそ、全員が仲良く協力しあい、意見しあい、励ましあって大学生活を送り、今ではとても深い絆で結ばれていると私は考えています。この4年間、大学でさまざまな経験をしました。専門的な学習はもちろん、実習、ボランティア、学校行事への参加や運営を経験し、多くのことを学びました。どの経験も無駄にせず、4月から社会人としての生活に役立てたいと考えています。

また、教員になるにあたって、つねに謙虚な気持ちを忘れずにどんなことにも責任を持って行動し、チャレンジ精神を持ち続けたいと思っています。毎日、目標を持って1日1日を大切に過ごしていきたいと思っています。

春日井市立小学校教諭  
篠原 里佳さん  
人間生活科学部 教育保育学科 卒業



## 自分の力量を高めることができた大学生活

私の夢は、「食事を通して人を健康にすること」でした。その夢をかなえるため、「管理栄養士国家試験に合格」という大きな目標に向かい、本学で一緒に過ごしてきた大切な仲間、先生方とともに4年間勉学に励み、自信を持って国家試験に臨むことができました。また、家庭料理技能検定やフードスペシャリストなどの資格取得やお弁当販売、レシピ提案にも挑戦をしました。さまざまな挑戦をすることにより、自分の力量をより一層高めることができ、自分自身が成長できた大学生活になったと思います。

就職活動では、何度も心が折れそうになりました。しかし、キャリアセンターの方々がつねに応援してくださったおかげで、努力を続けた結果、私の夢が実現できる企業から内定をいただくことができました。夢が実現する喜びや社会人としての責任を胸に、大学生活で学んだことを生かしていきたいと思っています。

在学生の皆さんも何事にも挑戦をし、毎日を楽しんで、充実した大学生活を過ごしてください。

日清医療食品株式会社  
杉田 詩織さん  
人間生活科学部 管理栄養学科 卒業

## 幼稚園教諭になる夢がかないました

中学の職場体験の時から「幼稚園教諭になりたい」という夢を持ち続けて、母の母校である名古屋経済大学に進学することを決めました。

高校が普通科であった私は、保育の専門的知識がまったくないまま、名経大の短期大学に進学。2年間という短い大学生活の中で実習や勉強の大変さにくじけそうになりましたが、先生方の励ましやお心づかいに何度も支えていただき、また同じ夢に向かってお互いを支えあうことのできる友だちや、親身になって何度も面接練習に付き合ってくれたキャリアセンターの方々のおかげで、あきらめずに就職活動に取り組んだ結果、希望であった母園で幼稚園教諭として働けることになりました。

4月からは、幼稚園教諭1年生として新たな道を歩むこととなります。不安もありますが、保育にかける情熱や短大生活で培った多くの学びを忘れずに努めていきたいと思っています。

私立鳴海幼稚園教諭  
犬飼 葵さん 短期大学部 保育科 卒業

## これからも、もっと頑張ります

私は入学してからこの2年間で幅広い分野の授業を受け、多くの知識を得ることができました。特に「MOS」や「ビジネス実務士」といった資格の取得に取り組むことで、パソコンスキルやビジネスマナーを向上させ、2年生になってすぐに希望する企業に就職することができました。また、私は入学当初から「友人をできるだけたくさん作ろう!」と考えていました。そこで、出会った人たちに自分から積極的に話しかけ、気のおけない友人をたくさん作ることができました。特に価値観が異なる友人との会話からは、多くの刺激を受け、毎日がとても新鮮で楽しかったです! 短大では、本当に充実した日々を送ることができました。

卒業後、4月からは社会人として新しいスタートをきりますが、自分を向上させるためにももっと頑張りたいと思っています。今までお世話になった先生方、ありがとうございました。

株式会社トヨタレンタリース名古屋  
片岡 沙也香さん 短期大学部 キャリアデザイン学科 卒業

## 卒業記念パーティー

卒業式を終え、大学および短期大学部の保育科とキャリアデザイン学科が、それぞれの会場に分かれて、学生自治会の主催による「卒業記念パーティー」を開催しました。大学のパーティーは、名鉄犬山ホテルを会場に「ビンゴゲーム」や恩師への「花束贈呈」、笑い涙で振り返る「思い出ビデオ」も上映し、大いに盛り上がりました。短期大学部保育科の恒例となったパーティーは、昨年同様名古屋栄のクレストンホテルで開催されました。卒業式での袴姿から、華やかなドレスに着替えた卒業生たちは、学生生活の思い出や新社会人としての夢や希望を語り合いました。また、キャリアデザイン学科は、名古屋駅前のウェディングホールを会場に楽しかった2年間の思い出話を花を咲かせ、最後は涙の花束贈呈で別れを惜しまました。



## 平成24年度 学長賞受賞者

学業・研究の面で優秀な成績をおさめた学生に「学長賞」が授与されました。平成24年度の栄えある受賞者10名の皆さんは、壇上から少し緊張した表情で記念写真に収まりました。



前列左から宇佐見さん、三木さん、ホアンさん、河合さん、篠原さん、笠原さん、八木さん  
後列左から池上さん、石田さん、森さん

大学院	
【研究業績および学会活動において顕著な功績があった学生】	
人間生活科学研究科 修士課程 栄養管理学専攻 宇佐見 祐加さん	人間生活科学研究科 修士課程 栄養管理学専攻 三木 早織さん
大学	
【学業が特に優秀であった学生】	【学業ならび社会活動において顕著な功績があった学生】
経済学部 池上 博一さん	経済学部 ホアン・レー・マイさん
経営学部 森 智史さん	短期大学部
法学部 石田 直之さん	【学業が特に優秀であった学生】
人間生活科学部 教育保育学科 篠原 里佳さん	保育科 河合 苑美さん
人間生活科学部 管理栄養学科 八木 涼花さん	キャリアデザイン学科 笠原 史瑠句さん

## 平成24年度 2名に「博士号」を授与



平成24年度は、法学研究科から1名、会計学研究科から1名、合わせて2名の院生が栄えある博士号を取得されました。

会計学研究科の博士号取得者である田中亮太氏(写真右、佐藤敏昭研究室)は、博士論文『中小企業のリース会計処理に関する研究』により、会計学博士の学位を取得されました。田中氏は現在、田中会計事務所に勤務し活躍されています。

法学研究科の博士号取得者である齋藤孝一氏(写真左、酒巻俊雄研究室)は、博士論文『会計参与制度の法的研究—制度の改善と普及に向けて—』により、法学博士の学位を取得されました。齋藤氏は現在、名古屋商科大学大学院に教授として勤務されており、多方面で活躍されています。

## 「名誉教授称号」10教授に授与

本学の教授として15年以上勤務し、教育上または学術上に功績のあった教授に対して授与される「名誉教授称号」。3月6日(水)から7日(木)に行われた教授会の議を経て、10名の教授がこの栄誉ある称号を授与されることになりました。



経済学部 教授 萩田 誠一 経済学部 教授 牧野 香三 経営学部 教授 丸山 祐一 経営学部 教授 岡本 秀昭 法学部 教授 若原 紀代子 法学部 教授 堀田 三郎 人間生活科学部 教授 細谷 徳治 短期大学部 教授 武田 康雄 短期大学部 教授 井上 邦雄 短期大学部 教授 水野 晃  
(訃報)丸山祐一名誉教授が4月13日に急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 第7回 顕彰制度 (Meikei Award) 表彰式

3月13日(水)、本学講堂において「Meikei Award表彰式」が執り行われました。学園創立100周年を記念して創設された顕彰制度も今年で7回を数え、団体の部、個人の部の各受賞者は緊張した面持ちで壇上に上がり、佐々木学長から表彰状を受け取りました。

それぞれの輝かしい活動内容が発表されると会場は大きな拍手で包まれ、今後の更なる活躍に期待して表彰式は滞りなく終了しました。その後、全員笑顔で記念写真に収まりました。



前列左から三林さん、安藤さん、両角さん、高田副学長、佐々木学長、若原副学長、仲村さん、柘植さん、今井さん  
後列左から大澤さん、藤田さん、中山さん、長屋さん、小川さん



個人の部で「最優秀賞」を受賞した仲村力也さん

団体の部	個人の部
<b>【優秀賞】</b> <b>いちむらっこまつり実行委員会</b> (短期大学部 保育科) 附属市部幼稚園での「いちむらっこまつり」の企画から運営にいたる活動により、保育技術の向上に貢献	<b>【最優秀賞】</b> 経営学部 2年 <b>仲村 力也さん</b> MOS世界学生大会2012に日本代表として出場、エクセル2007部門で「世界第15位」獲得
<b>【奨励賞】</b> <b>犬山弁当プロジェクトチーム</b> (人間生活科学部 管理栄養学科) 3年李ゼミ 犬山市の特産品をふんだんに使った弁当を企画し、地元企業の協力により「犬山お城まつり」で商品化し販売	<b>【優秀賞】</b> 経済学部 1年 <b>チャン・ソン・トアン・チーさん</b> トーイック学内試験において、学内歴代最高得点765点を獲得
<b>【奨励賞】</b> <b>チーム李ゼミ</b> (人間生活科学部 管理栄養学科) 4年李ゼミ 地元の食材を使った行楽弁当を企画・制作し、明治村とのコラボにより「明治村おめかし弁当」を販売	法学部 3年 <b>柘植 輝さん</b> 入学以来、数々の資格を取得、難関資格とされる「行政書士」資格試験に合格
	人間生活科学部 管理栄養学科 4年 <b>今井 裕理さん</b> 第2回大山豆腐料理メニューコンテストスイーツの部「優勝」
	<b>【奨励賞】</b> 経済学部 3年 <b>大澤 清さん</b> トーイック学内試験において高得点を獲得
	経営学部 3年 <b>長屋 智保さん</b> 2年連続で大学祭実行委員、24年度委員長として、大学祭を大いに盛り上げる
	経営学部 3年 <b>藤田 哲朗さん</b> 「宅地建物取引主任者」資格試験に合格
	法学部 3年 <b>小川 兼志郎さん</b> 「宅地建物取引主任者」資格試験に合格
	法学部 1年 <b>中山 真歩さん</b> 「実用英語技能検定」試験2級に合格、ボランティア活動にも参加



※学年表記は受賞当時のものです。

## 平成24年度 全国保育士養成協議会会長賞表彰

社団法人全国保育士養成協議会は、保育士を養成する学校を会員とする団体です。毎年、全国の保育士養成校で資格を取得した学生の中から、特に学業優秀で、かつ保育所保育士として就職が決定した学生が選ばれ、全国保育士養成協議会の「会長賞」が授与されます。

平成24年度は、人間生活科学部 教育保育学科の津田末希さんと短期大学部 保育科の水野文菜さんが「会長賞」を受賞し表彰されました。

津田さんは愛知県名古屋市北区の私立「てんちょうくすのき保育園」で、水野さんは愛知県瀬戸市の私立「瀬戸市立北保育園」で、それぞれ4月から新人保育士としてのスタートをきりました。



人間生活科学部 教育保育学科 卒業  
津田 末希さん



短期大学部 保育科 卒業  
水野 文菜さん

## 大学の活動報告

〈経済学部〉

### 優秀卒業論文表彰式・発表会を開催

1月17日(金)、第3回経済学部優秀卒業論文表彰式・発表会が開催されました。経済学部では、大学生生活の集大成ともいえる卒業論文を審査し、優れた論文を書いた学生を表彰しています。同時に、その成果を発表することで、論文執筆時の苦労やアドバイスを先輩から後輩へと伝え、卒業論文を執筆する3年生に卒業論文執筆に対する心構えをもってもらうこともこの会の重要な目的の1つです。

今年度は、昨年度と同様に3名が優秀論文賞を受賞し、荻田経済学部長より表彰状と副賞が授与されました。表彰式後の卒業論文発表では卒業論文の内容に加えて、「早めに取りかかる」「自分自身が興味のあるテーマを設定して取り組む」など、卒業論文執筆の経験を踏まえたアドバイスもありました。会に参加していた3年生は、来年度の卒業論文執筆に向けて、先輩の言葉に熱心に耳を傾けていました。(経済学部 田村善弘講師)



### 要援護者支援のための実証実験を実施

2月2日(土)、犬山市楽田の倉曾地区で災害時の要援護者支援の仕組みづくりに向けた実証実験が行われました。実験は楽田コミュニティ推進協議会の主催で行われ、地域情報の集積と共有化について長年共同研究を進めてきた本学とデジタルアース・ラボ社とが中心となり、市役所、市社会福祉協議会、倉曾自治会、倉曾住民の皆さんの他、NPO法人Do Chubuをはじめ、災害関係のボランティア組織など、多くの関係機関、団体の協力を得て進められました。

当日は経済学部の授業「地域調査」で得た要援護者の情報に基づき、風水害を想定した避難訓練の中で、要援護者の安否確認と、避難時のサポートに関する情報を共有する仕組みについて検証が行われました。実験の特徴の1つは、授業で得た情報に基づき、デジタルアース・ラボ社が防災科学研究所の委託を受けて開発したスタンドアロン型マップシステム\*を用いて災害時の情報共有の仕組みを検証したことです。これに基づき、25年度の「地域調査」では倉曾の方々と一緒に災害時の避難のタイミングの明確化、避難時のマニュアル作成を進めていきます。

(経済学部 岸野澄子准教授)



参加団体の意見交換会



データを共有中



倉曾公民館での様子

\*スタンドアロン型マップシステムとは、ネットが使えない環境でも各端末に蓄積されたデータを元に新たな情報を保存し、ネットが回復した後にこれを共有できるシステムです。

### 独学で行政書士試験に合格

私は大学3年生だった昨年、行政書士試験に合格しました。得点は300点中224点でした。私の家はあまり裕福な家庭とは言えず、資格予備校に通う余裕はありません。必然的に独学での学習となり、教材の用意から日々の学習まで、すべて自分でこなす必要がありました。また、大学の授業と定期テストに並行してアルバイトもする必要があり、思うように勉強時間が取れないこともありましたが、しかし、思うように勉強時間が取れなくても毎日継続して勉強した結果、なんとか合格を勝ち取ることができました。

近年の行政書士試験は、司法試験受験生や法科大学院受験生など、上位資格の受験生たちも参入してくるようになり、大変難しくなると言われています。それでも、独学であっても、目標を持って最後まであきらめない強い意思を持って勉強を続けていけば、必ず結果は出ます。

振り返ってみれば決して楽しかったと言えるような日々ではありませんでしたが、あの時必死に勉強した時間は今、私の中でかけがえのないものになっています。

法学部 4年 柘植輝さん



## 短期大学の活動報告

〈キャリアデザイン学科〉

### ゼミナール交流会

1月16日(水)に2年生8ゼミ、1月18日(金)に1年生6ゼミが最終のゼミの時間を使い、それぞれのゼミで1年間にわたって実施してきた学習の発表とゼミ間の交流をあわせて行いました。多様なテーマがあり、調査、実演など発表形態もさまざまでしたが、キャリア祭で展示と発表でまとめた学習内容をさらに発展させたゼミが多くみられました。

ウエディングドレス製作のゼミでは、キャリア祭にファッションショーを実施した作品にさらに手を加え、時間制限のために発表できなかった学生は短期集中で作品を完成させ、今回のショーに加わることができました。その他、マーケティングのゼミでは、販売店や製品の比較、スウェーデン社会について詳細に調べたゼミ、ビジネス実務のスキルやマナーを独自の冊子にまとめたゼミなど、多彩な内容でした。最終ゼミを充実した楽しい時間で締めくくることができた1日でした。

(短期大学部 キャリアデザイン学科 水口美知子准教授)



2年生光松ゼミのウエディングドレス製作発表

〈保育科〉

### 「卒業研究作品展」を開催

藤田ゼミでは、毎年卒業研究としてそれぞれの研究課題に基づいた卒業制作に取り組んでいます。乳幼児が楽しめるおもちゃや掲示物の制作、造形活動の実践研究が中心です。

今年度は、動物園をテーマとした消しゴムスタンプや四季をテーマとしたポップアップカード、フェルト素材を使ったカレンダーや絵本、おもちゃの制作研究があり、2月15日(金)には3号館にて「卒業研究作品展」を開催しました。

(短期大学部 保育科 藤田雅也准教授)



素材もデザインもバラエティに富んだ卒業作品

〈保育科〉

### 「入学前教育inキャンパス」を開催

2月9日(土)、4月入学の新入生を対象にピアノチェックをはじめ、さまざまなワークショップを行う「入学前教育inキャンパス」が実施されました。附属市邨幼稚園で開催されていた生活発表会(年少クラスの劇)を見学し、造形、英語遊び、心理テスト、入学前教育ワークブックをもとにした個別面談なども行われました。参加した皆さんは、「ピアノについての不安が解消された」「子どもたちをリードする先生がすごい!」「短大の様子や勉強のポイントがわかった」「先輩たちのアットホームな雰囲気良かった」「友だちができた!」といった感想を口にしながら、それぞれ充実した面持ちで家路につきました。

(短期大学部 保育科 多川則子准教授)



家接先生による「心理テスト」

〈保育科〉

### 「遠足計画」コンテスト入賞者発表

2月15日(金)、3号館3B1教室では、恒例となった「ぜひ行ってみたい!」「遠足の計画」コンテスト投票結果の発表と上位入賞者の表彰が行われました。保育科2年生後期に履修する「保育実習(事前事後指導)」の授業では、自分が幼稚園や保育園に就職した時を想定して「遠足の計画」を立てます。公共交通機関を使って5歳児を安全に引率し、楽しい遠足を体験させようというのがその内容です。今年も15のグループと個人による計画が絵本ライブラリーに展示され、学生・教職員など学内外の皆さんからの投票によって、それぞれの「できばえ」が評価されました。

(短期大学部 保育科 船井廣則教授)



各グループの「遠足の計画」の展示の前で記念撮影

## 春らしい晴天に恵まれた、平成25年度入学式

4月1日(月)、名古屋経済大学・短期大学部および大学院の入学式を挙行了しました。春らしい晴天に恵まれ、今年は桜もちょうど満開。早くから会場に集まった新入生たちは、晴れやかな笑顔で記念写真に収まりました。

開会の辞、市邨高校・高蔵高校吹奏楽部による「大学歌」の演奏に続き、佐々木学長は告辞で、「本日から始まる皆さんの新しい日々がそれぞれの人生の中で実りのある一つの局面、一つの時代となることを願ってやみません。本日は皆さんの終着点ではありません。出発点に他なりません。どうか今の自分に満足することなく、さらに成長を目指してください」「今のような変化の時代、予測困難な時代に必要とされるのは、これまで出会ったことのない状況に遭遇した時、その問題を解決して克服する力です。それは、どんな問題が含まれているかを発見し、それを解決する糸口を探し出す力とっていいと思います。言い換えれば考える力あるいは学ぶ力です。名古屋経済大学は、皆さんが考える力を学び取る、そんな学びを全面的に支援していきます」と、祝福と応援の言葉を述べられました。

新入生を代表し、法学部の白石恭一さんが「私たち新入生一同はこれからの4年間、一人ひとりの夢を実現するために、最後の学びの場である名古屋経済大学で精一杯の努力をすするとともに、学則を守り、代々受け継がれてきた歴史と伝統を汚すことなく大学生活を送ることを誓います」と、力強く宣誓しました。



歓迎の挨拶をする佐々木学長

新入生を代表して宣誓をする白石恭一さん

新入生  
歓迎会

## 「ようこそ名経へ！」

### クラブ・サークル紹介

4月1日(月)、入学式を終えたばかりの新入生に向け、クラブ&サークルのメンバー募集活動が学内のあちらこちらではじまりました。午後から体育館を会場に学生自治会主催の「クラブ・サークル紹介」を実施。ステージを使ってのPRタイムとクラブ・サークルごとにブースを設けてホットな新入生争奪戦が繰り広げられ、会場は元気なかけ声と笑顔があふれていました。



懸命に新入生を説得



パネルシアターで会場を盛り上げる「わらべ」

## 新入生歓迎パーティー

「新入生歓迎パーティー」が4月2日(火)15:00からコミプラにおいて開催されました。新入生ガイダンスが目白押しの中、「ようこそ名経へ!」という気持ちを込めて、学長をはじめ教職員、在校生が温かく歓迎しました。約300名の新入生が参加し、料理や飲み物を片手に、先輩・教職員や同級生と語り合いました。新しく始まった大学生活に期待と不安が入り混じっている新入生は、先輩・教職員と履修の仕方、大学生活、クラブ・サークルなどさまざまな話題で盛り上がっていました。また、和やかな雰囲気の中、緊張していた新入生同士も次第に打ち解け、学部を越えての交流となりました。



料理や飲物を手にパーティーを楽しむ

入鹿の里・明治村(犬山)

## 〈人間生活科学部 教育保育学科〉フレッシュマンセミナー さまざまなアドバイスで、不安も消えた2日間

桜の薄ピンク色が優しい4月、大学生になりました。私の夢である保育士について学べることにわくわくすると同時に、「新しい場所であまりやっつけられないかな」「友達ができるかな」と不安な気持ちもありました。しかし、そんな不安はすぐなくなりました。4月1日の入学式の次の日から2日間、新入生のためのオリエンテーション合宿が行われ、大学での授業の説明や履修登録の仕方などを先生・先輩方に教えていただけます。大学生活を送る上でのアドバイスもしていただいたので、とても心強かったです。

合宿2日目は、明治時代の建物が移築されている明治村を訪れました。実際に昔使われていた小学校の教室を見学し、教育が始まった明治時代の社会や文化にふれ、当時の雰囲気を感じることができました。

入学してすぐの合宿だったのですが、勉強になることや得るものが多く、とても有意義な時間を過ごせました。

これから同じ夢に向かって頑張っていく仲間たち、関わってくださる先生方、先輩方に出会えたことに感謝し、今後も夢をかなえる努力をしていきたいです。

人間生活科学部 教育保育学科 1年 伊藤 帆乃香 さん



聖ヨハネ教会堂をバックに記念撮影(左から0番目伊藤帆乃香さん)

犬山キャンパス

## 〈経済・経営・法学部〉フレッシューズセミナー 大学生活に目標を!先輩・卒業生が新入生にエール

爆弾低気圧の影響が心配される中、4月6日(土)にフレッシューズセミナーが開催されました。このセミナーは、数年前から法学部の学生たちが、新入生歓迎行事として自主的に行っていましたが、今年は経済・経営・法学部の3学部合同での開催となりました。午前と午後の2部構成で、午前中は在学生1名と卒業生4名による講演会が行われました。自分の学生時代のこと、将来の目標を見つけたきっかけ、今の職場の様子などについて、それぞれにとても個人的な話が続き、1年生たちは身を乗り出して聞いていました。

午後はさらに4名の卒業生が加わり、目的別ガイダンスが開かれました。1年生たちはそれぞれ自分が興味を持った先輩・卒業生がいる教室に行き、間近で詳しい話を聞きました。1年生は積極的に自分の感じている疑問や不安をぶつけ、先輩・卒業生たちもそれに真摯に答えていました。

残念ながら心配されていた爆弾低気圧の影響で、少し早めの切り上げとなってしまいましたが、参加した1年生にとって収穫は大きかったようです。

3学部の  
合同開催

司会を務める堀部愛美亜さん



「信頼される人物になって欲しい」と新入生に語りかける 経済学部の卒業生、西方広希さん

## 目標が見えてきました 前向きな気持ちになれました

この大学で私が何をしていくべきなのか、わかった気がしました。特に資格は取得しておく就職に有利だということがよくわかりました。今回、OBの方からは簿記検定を勧められました。どこまでやれるかわかりませんが、「頑張っていけるまで」という目標ができました。

経営学部 1年 田中 博明 さん

私は入学して今後の大学生活に期待する一方、「失敗せずに大学生活を送ることができるだろうか」という、漠然とした不安を抱いていました。しかし、先輩の話を聞いてうちに、失敗してもいいからまずは「何事にも積極的に挑戦してみよう!」と思いました。セミナーで前向きな気持ちになることができ、嬉しく思いました。

経営学部 1年 新 桃香 さん

迎帆楼(犬山)

## 〈短期大学部 保育科〉フレッシュマンセミナー あこがれていた幼稚園の先生と感動の再会

私はフレッシュマンセミナーを通して、保育者についてさまざまなことを学びました。手あそびや名前を覚えるゲームをしながら、「子どもどう接していけばよいか」を考えることができました。また、保育の現場で実際に働いている講師の方の話が聞けるということで私はとても楽しみにしていました。驚いたことに講師の先生は私の幼稚園の先生だったのです。妹も通っていたので、十数年ぶりの再会でした。私は勇気を出して、「先生、私です。覚えてますか。お世話になりました」と声をかけてみました。先生ははじめ首を傾げていましたが、名前を言うとみるみる笑顔になり、お互い抱き合って喜びました。そして、先生に実習や勉強についての不安をすべて聞くことができました。私が幼稚園の先生になろうと思ったのも、幼稚園での毎日がとても楽しかったからです。小さい頃、毎日明るくあいさつしてくださった先生。あこがれの先生と身近に接することができ、保育科に入って本当に良かったと感じました。「自分がどこに向かって何をしなければならぬか」ということを明確にすることができ、保育者になろうという思いが一層強まりました。



上飯田幼稚園の元教諭の 日比先生と田尻さん

短期大学部 保育科1年 田尻 汐璃 さん



2年生によるパネルシアター

KKRホテル(滋賀県大津市)

## 〈短期大学部 キャリアデザイン学科〉フレッシュマンセミナー 「感じる、考えること」の大切さを学びました

4月4日(木)・5日(金)の2日間、私たちは琵琶湖で行われた研修に参加しました。宿泊先の「KKRホテルびわこ」では、満開の美しい桜が私たちの新しいスタートを祝ってくれているようでした。快晴に恵まれ、琵琶湖と桜を背景に写真を撮ったり、ホテル周辺を散策したりと、春を満喫することができました。自己紹介ゲームでは、ゼミを越えて同じ学科の仲間たちと会話し、自分の将来像や「大学で何をどう学ぶのか」という学長からいただいたメッセージについて考えました。2年生との交流会では、コースやゼミの説明、大学生活の楽しさや大変なことなどを親身になって教えていただきました。将来やりたいことに向かって努力を怠らない姿や真剣に説明してくださる姿に、人としての大きさを感ずりました。また、ゼミ内では、入学前教育課題についてまとめ、他ゼミや先輩方の発表を聞くなど、有意義な体験ができました。

ビンゴゲームや交流会、琵琶湖博物館の見学など、盛りだくさんの企画を立て、準備をしてくださった先生や先輩に感謝します。

短期大学部 キャリアデザイン学科1年 塚本 万利奈 さん



ゼミごとに行われていた上級生との交流会

## 新入生と語る

### 変化の時代に必要な力とは

学長：皆さん、ご入学おめでとうございます。今、大学での新しい学びに期待を膨らませていると思いますが、入学してどういう感想を持ちましたか？

白石：自然に囲まれたキャンパスで、のびのびと学生生活が過ごせるなあと思いました。

野村：私はブラチナ奨学生選抜を受験したので、合格できてとても嬉しいです。特に保育科の授業は、先生方の指導がとても丁寧だと感じています。

中込：私もずっと目標としていた管理栄養学科に合格でき、喜びはひとしおです。勉強は大変ですが、同じ目標を持つ友人と互いに励まし合って成長していきたいです。

小泉：僕はサッカーのスポーツ特待生として入学したので、これから勉強とクラブ活動をしっかり両立させたいと思っています。

学長：大学とは、教員と学生、学生同士が学びを中心とした活動を通して切磋琢磨する共同体ですから、さまざまな人との出会いが皆さんの成長にとって大切な役割を果たします。どうか引込み思案にならず、人との出会いを積極的に求めてください。また、今の自分に満足せず目標を立てて一つひとつ達成してほしい。その達成感が自信となり、次の目標が見えてきます。皆さんは具体的な目標はありますか？

野村：私の目標は保育士になること。そのために、ピアノが得意になりたい。そして子どもが喜ぶ、手品やバルーンアートにも積極的にチャレンジしたいと思っています。

中込：私は、管理栄養士国家試験に合格すること。将来は、栄養教諭として活躍したいので、その目標に向かって頑張りたいと思います。

白石：中込さんと同じく資格を取得することが目標です。

行政書士や司法書士、公認会計士資格を取得したいと思っています。将来的には、医療関係に強い弁護士になるのが夢です。

小泉：できればIT、コンピュータ関係の資格を取得したいですね。クラブ活動ではサッカー部のキャプテンを任されているので、チームをしっかり引っ張って東海リーグ1部を目指したいと思っています。

学長：それぞれしっかりとした目標があり、頼もしいですね。

今、世界は大きく変化しつつあります。経済を中心に私たちの生活全体が「グローバル化」を迎えています。また、2011年の大震災と原発の重大事故を経験して、人々の価値観も大きく変わりつつある。このような変化の時代を生き抜くために必要な力とはどんな力でしょうか。市邨学園の創始者 市邨芳樹先生は、今から100年以上も前に、建学の精神「一に人物、二に伎倆」を示しました。先生は、教育は単なる知識の詰め込みに終わるのではなく、何よりも人間としてのよき資質を身につけた「人物」を育てるべきであると唱えられたのです。この教えが、今、あらためて輝きを持ち始めています。なぜかという、社会が大きく変化する時代には、教えられた「伎倆」である知識や技術は、やがて役に立たなくなるかもしれません。そうだとすれば、皆さんに必要なのはこれまで出会ったことのない状況に遭遇した時、その問題を解決し克服する能力です。これを「学ぶ力」「考える力」と

言っていきたいと思います。皆さんに必要なのは、この「学ぶ力」「考える力」を身につけることだと思います。

白石：そうですね。「一に人物、二に伎倆」という建学の精神は、一番大事だと思います。詰め込んだだけの知識だけでは、社会に出て役に立たない。大事なものは「人間力」であり、記憶より機転、学歴より創造性が重要だと思います。

野村：建学の精神は、保育科の私にとっても重要です。幼児に関する知識や技術はもちろん、大切なのは子どもの幸せを第一に考え、行動できる人物になることだと思います。先生方も「どうしたら子どもが楽しいか考えられる保育者になるように」とよくおっしゃいます。

### 大切なのは、知識よりも自分で学ぶ力

学長：変化の時代に対応できる「学ぶ力」を身につけるには、「自ら学ぶ体験」が必要ですね。自転車の乗り方を忘れる人はいないように「体験的な学び」の成果は忘れることがありません。

本学は、全学共通科目群の中に「体験型探究」という授業科目を設けました。その多くは、大学を取り巻く近隣地域を学びの場と考えたフィールドワークです。皆さんはまず、それぞれ

のプロジェクトを楽しんでください。そして学びの素材や目的は身の回りにたくさん散らばっていること、大学での学びは社会生活と直接かかわっていることを知ってください。この取り組みは、皆さんの「主体的な学び」のきっかけを作る「入り口」です。この体験的学習をそれぞれの専門領域での「主体的な学び」につなげてほしいのです。「受け身の学び」は身につけません。目標に裏づけられた「主体的な学び」の成果こそ、将来の皆さんの力になります。フィールドで経験する「自分の学び」の体験を高いレベルでの「主体的な学び」につなげて、「変化の時代」に応えられる「学ぶ力」を修得してほしいと期待しています。

白石：地域に密着した体験型プロジェクトには興味があります。犬山市の観光課とのコラボレーション企画など、実践的な学びができるのがいいですね。人と接することが苦手な学生や自分に自信のない学生が多いと思うので、「体験型探究」はコミュニケーション能力を高めることにもつながると思います。

学長：確かに自信がないと思っている学生は多いようですね。

中込さんはどうですか？

中込：自信はないですね。勉強が苦手なので……。

学長：勉強ができないと、自信がないというのはおかしい。高校生の中で受験勉強が好きなのは全体の10%もないでしょう。90%の人が苦手だと感じているはず。今の時代、勉強をして知識を詰め込んでも、その知識は10年も経てば古くなります。大切なのは知識よりも自分で学ぶ力です。勉強が苦手だからといって尻込みしないで、新しいことにどんどんチャレンジしてほしいですね。

中込：はい、わかりました。



### 大学生活を楽しみながら 栄養教諭として食育にもチャレンジ!

人間生活科学部 管理栄養学科 1年 中込 満里奈さん  
山梨県立市川高等学校出身



### プレッシャーを楽しむ余裕を持って 新キャプテンとしての責任を果たしたい

経営学部 1年 小泉 幸人さん  
光星学院野辺地西高等学校(青森県)出身  
(現:八戸学院野辺地西高等学校)



### 信頼される保育士になる! 幼い頃からの夢を「名経」でかなえたい

短期大学部 保育科 1年 野村 志保美さん  
愛知県立丹羽高等学校出身



### 生徒会での経験が生かせる 学生自治会やボランティアに携わりたい

法学部 1年 白石 恭一さん  
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身

### 学生が生き生きと活動する 「魅力のある大学」へ

学長：私はこの大学を「魅力のある大学」にしたいと思っています。「魅力のある大学」とはどういう大学か。その第一は、学生が学びを中心に生き生きと活動する大学であることです。私は、皆さんの澆刺とした学びと、これにかかわる活動を元気づけることによって、本学を「魅力のある大学」にしたいと思うのです。「特別奨学生」として入学した皆さんには、学びを中心にした学生の活動をぜひ積極的にリードしていただきたい。「スポーツ特待生」の皆さんには、競技力を磨き、競技大会において優秀な成績を収めることをまず期待しています。そしてそのことが在学する多くの学生を励まし、このキャンパスを活性化することにつながることを期待しているのです。

白石：はい。「特別奨学生」の名に恥じないように努めたいと思います。

小泉：「スポーツ特待生」として、まず東海リーグ1部を目指します。そして、名古屋経済大学サッカー部の名を全国に知ってもらい、高校生に「この大学でサッカーをやりたい!」と思ってもらえるよう頑張りたいと思っています。

学長：楽しみにしています。これからの大学生活が、皆さんにとってかけがえのない日々となるよう、願っています。

全員：今日はありがとうございました。

## 第3回 犬山 豆腐料理メニューコンテスト「スイーツの部 2・3位」

2月27日(水)、犬山商工会議所特産品開発実行委員会が主催する第3回「犬山豆腐料理メニューコンテスト」の第2次審査が本学で開催されました。応募者60名のなかで1次審査を通過したのは12名。そのうち本学学生は、8名(料理の部3名とスイーツの部5名)と大健闘。それぞれに自慢のレシピを披露しました。

今回の参加者最年少は小学3年生。日頃から料理のお手伝いをしているということで、大人顔負けの手際よさに審査員も感心していました。回を重ねるごとに取材クルーもNHK、中日新聞、テレビ愛知、CCNet、月刊情報誌Myuと増え、会場は熱気を帯びていました。

本学からは、スイーツの部で管理栄養学科1年の竹内志帆さんの「生どら焼き」が2位、同じく守屋あいみさんの「豆乳シュークリーム」が3位入賞を果たしました。「お菓子作りが大好き!」と話すあいみさんは、お菓子好きの家族の笑顔の思い出がきっかけで一生懸命頑張りましたと、笑顔いっぱいに喜びを伝えてくれました。入賞作品がお店に並び日(期間限定)が今から楽しみです。(人間生活科学部 李温九准教授)



自慢の豆腐料理を前に管理栄養学科1年生と参加者、スタッフで記念撮影



守屋あいみさん(左)と竹内志帆さん、賞状を手に笑顔で仲良く記念撮影



取材スタッフの接近に緊張しながら最後の仕上げをする学生

### ●その他の入賞者

#### 【料理の部】

- 1位「まるごと豆腐ボール」 松本 祐香さん(高3)
- 2位「豆ふもちふたしようまん」 戸嶋 琴美さん(小3)
- 3位「とうふ de 奈良漬」 長瀬 潤子さん(会社員)

#### 【スイーツの部】

- 1位「豆腐ワッフル〜豆乳クリームサンド〜」 齋藤 和香さん(主婦)

※学年表記は受賞当時のものです。

## 海外研修でドイツとフランスへ

今年の海外研修は、2月4日(月)~11日(火)までの8日間。訪問先はドイツとフランスでした。ヨーロッパ旅行は初めてで、私たち4人も右も左もわからずに出発したので、最初は不安でいっぱいでした。飛行機に12時間も乗るなんて想像できませんし、治安も悪いと聞いていたので、生きて帰ってこれるか不安でした。しかし、無事にドイツに着き、日本とは異なる街の景色に見とれました。写真やテレビで見かけたことがない美しい景色が、そこには広がっていました。

ドイツでは、ビール工場とローテンブルグへ行き、現地の学生との交流がありました。ビールは期待したほどおいしかったのですが、種類がいろいろ



パリ・オペラ座近くで記念撮影

あるあって、飲みやすかったです。現地の学生さんは、幅広い年齢層の人がいて、年齢を聞くとちょっと恥ずかしがっていました。日本語がとても上手で、ドイツの中心地に連れていってくれたり、一緒にお酒も飲み交わしました。ドイツは街がきれいで、治安も良く、「住んでも不自由ないだろうな」と思いました!

フランスは、想像していたようなきらびやかな場所ばかりではなく、スリは多いし、ゴミや歩きタバコがとても目立ちました。日本はマナーの良い国だと改めて気づかされました。ディズニーランド・パリに行った時には、飲食店が昼すぎから営業を始めた、ミッキー、ミニーマウスがパレードでしか出てこなかったり、みんなサボリすぎな点が目立ちましたが、日本とは違ってアトラクションに乗るまでの待ち時間がとても短く、いっぱい楽しめました!

今回海外研修に行ったことで、新しい発見があり、日本をもっと好きになりました! 大学生活最高の思い出になりました。

短期大学部 キャリアデザイン学科 卒業 江川 奈央 さん



## 「健康レシピリレー」連載スタート

犬山市の広報「いぬやま」に管理栄養学科学生による「健康レシピリレー」が4月1日号からスタートしました。4月から1年間、学生が考案したレシピを季節感いっぱい展開していきます。

連載スタートの第1回(4月1日号)は、「さくら咲く」。春の入学・入学式に合わせて花柄巻き寿司とササミサラダを紹介しました。普段の巻き寿司が少し工夫することでなかなかさくらに変身しました。つづく第2回(5月1日号)は、「餃子de鯉のぼり」5月5日はこどもの日! 餃子で元気に泳ぐ鯉のぼりをつくってみました。

今後は広報「いぬやま」の特集企画にあわせて糖尿病やアレルギーなどの病気に対応したレシピも登場します。皆様のご期待にこたえられるよう頑張りたいと思います。

人間生活科学部 管理栄養学科 2年 丸山 麻里アンジェラ さん



4月の担当、左から早稲田さん、大竹さん、丸山さん



お寿司のさくらが咲きました



元気に泳ぐ「餃子de鯉のぼり」

## 被災地支援活動(ボランティアサークル)

### Tシャツのリサイクルで復興支援

今、学内で「Tシャツ集めてます!」というポスターが貼られているのをご存知ですか? これは、2012年夏の「被災地ボランティア・視察研修」に参加した学生が、名経ボランティアサークル内に立ち上げた天災部門を立ち上げて行う「布草履(ぬのぞうり)プロジェクト」。Tシャツなどの古布を編んで布草履を作ります。2年前の3月11日に女川町(宮城県)で被災された方々が、生活資金のため、居場所作りのため、そして何より復興のためにこの布草履を作っています。

その趣旨に賛同し、私たち名経大生が大学で行える復興支援をしようと、学内で布草履の原料となるTシャツを集め、被災地に送るプロジェクトを始めました! あなたの「人のために自ら行動できる素敵な心」をお待ちしています。

人間生活科学部 教育保育学科 3年 佐藤 健太郎 さん



学内に貼られているTシャツ募集のポスター

## Relay Essay 020 リレーエッセイ

### 「清光館哀史」

東日本大震災から2年、死者・行方不明者1万8000人、今だに避難所生活を余儀なくされている方は32万人におよぶ。三陸海岸の報道を聞くたびに頭の隅に浮かんでくる文章がある。日本民俗学の祖といわれる柳田國男の「清光館哀史」である。高等学校の国語の教科書にも採録されている。

柳田がこの紀行文の舞台となる岩手県北部種市町の小さな漁村、小子内(おこない)の「旅人宿清光館」をたまたま訪れたのは、1920(大正9)年。前年に貴族院書記官長を退き、朝日新聞社の客員となった8月下旬のことである。その夜、旧盆の月夜の浜辺で女衆ばかりのあまりにも静かで淋しい盆踊りを見るのだが、踊りで歌われる単調な歌の意味が柳田には聴き取れなかった。6年後の1926(大正15)年7月末、旧知の郷土学者の追悼会が八戸であり、同伴した3人の子どもと足をのびし、再び「清光館」を訪ねるが宿主の海難事故死により旅館はなくなり、一家は離散したことを知る。

この時、たまたま村の若い娘から盆踊りの歌詞を聞き出し、男衆に一夜の癒しを呼びかける恋歌であると推論し、「…遺瀬無(やるせな)い生存の痛苦、どんなに動いてもなお迫ってくる災厄、如何に愛しても忽(たちま)ち催す別離、斯(こ)ういう数限りも無い明朝の不安があればこそ…」、「痛みがあれば

短期大学部 キャリアデザイン学科 渡辺 道斉 教授

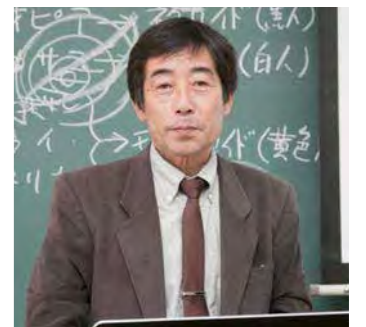
こそサルサム(癒し)は世に存在する。」と、東北の小村に生きる常民への限らない共感を示す。

「清光館哀史」に心の恩を受けて人類学者の道に進んだ川田順造は、ある雑誌のなかで柳田のこの歌と盆踊りの解釈の誤りを指摘し、柳田の文人としての並外れた美意識の優越が民俗学者柳田の他者理解を妨げていると厳しく批評した。それでもいい、それでもなお、私にとり、この文章は美しい。

※原文は、<http://tohoku.sakura.ne.jp/00x-10-44yk-kikou-04.html>にて閲覧可。

#### Profile

わたなべ みちなり  
埼玉大学教養学部教養学科文化人類学コース卒。同年、名古屋鉄道(株)文化事業部博物館リトルワールド建設室に入職。市郷学園短期大学生活文化学科講師を経て、同学科助教授。愛知県立大学国際文化研究科修士課程修了後、名古屋経済大学短期大学部キャリアデザイン学科にて文化人類学を担当。2007年よりキャリアデザイン学科教授。研究テーマは「労働観の比較研究」。日本文化人類学会、日本展示学会所属。博物館リトルワールド客員研究員。



●リレーエッセイ 次回は、短期大学部 保育科 船井廣則教授です

## 高蔵高校「商業科DAY」

小春日和の3月7日(木)、私たちは高蔵高校から名古屋経済大学へ、バスで向かいました。「商業科DAY」と名付けられたこの日、大学を直に肌で感じて自らの進路に生かそうという企画に、バスの中は遠足気分似た盛り上がりで、あっという間に大学に到着しました。

1年生は施設見学や授業体験を通して、「大学で学ぶ」という実体験ができ、充実した時間を過ごしました。そして私たち2年生は大学で行われている「ワーク・ショップ」に、実際に挑戦しました。その内容は「大学近くの田原神社、楽田駅や中部電力の施設を見学し、実際に歩いて班ごとに意見をまとめて発表する」というものですが、私たちにとっては手探りの活動でした。「どれが正解で、何が間違っているのか」という勉強に慣れてきた私たちは、まとめの際の柴田先生の「ときとして答えのないものを探るのが学びです」というお言葉に衝撃を受けました。「必要最小限のアドバイスしか」くださらない先生方が、なぜかニコニコと優しく支えてくださったのは、実は「大学での学びとはこういうものだよ」という導きだったのです。

「商業科DAY」の経験で、私たちは少し大人になったように感じています。答えはないかもしれないけれど、自分で歩いてついでいく。「自信を持って前に進んでごらん」と、大学の皆さんに優しく後押ししていただいたように感じています。(名古屋経済大学高蔵高等学校 商業科 2年桜組 山本 彩花さん)



「楽田」駅周辺で説明を聞く グループにわかれてプレゼンテーション

## 社会科学入門講座を開講

本学入学予定者に向けて行われる平成24年度「社会科学入門講座」が、2月2日(土)～3月9日(土)にかけ、毎週土曜日に犬山キャンパスと名駅サテライトキャンパスで開催されました。この講座は大学の正規科目として承認され、受講後合格判定の出た学生には「2単位」が認定されるのが特徴です。開講3年目の今回は、短期大学部の入学予定者にも講座を開放。例年よりも参加総数が増加し、多くの高校生が本学を訪れました。最終日の3月9日(土)には、保育科・キャリアデザイン学科の教員が講師を務め、それぞれ「やさしいまちづくり」「自己理解のための心理学」「日本人のルーツを探る」と題して、第1時限から第3時限まで講義が実施されました。

高校生は先生が発する一つひとつの言葉を新鮮に受け止め、多くのことを吸収しようと真剣に講義を聴いていました。講義を受講した後はテストが実施されるとあって、配布されたプリントには多くの書き込みが残されていました。

参加した高校生たちは緊張しながらも、4月から始まる新生活に向け、一足早い大学生気分を味わっていました。



課題テストのチェックを受ける受講生

## 「名古屋経済大学カップ」を開催

3月9日(土)、名古屋経済大学のグラウンドにて「名古屋経済大学(名経大)カップ」を開催。当日は、天候にも恵まれ素晴らしい大会になりました。

犬山市、犬山商工会議所、名古屋経済大学が地域交流の一つとして主催したこの大会には、小学4年生8チームが参加し、8人制サッカーの試合を行いました。

普段は土のグラウンドでプレーすることの多い子どもたちが、人工芝のグラ

ウンドで楽しそうに嬉しそうに、のびのびプレーしている姿を目の当たりにし、「開催して良かった」と思うと同時に、これからも多くの人に名古屋経済大学に足を運んでいただけるよう、また地域の方々に喜んでいただける活動を続けていきたいと強く思いました。

(名古屋経済大学サッカー部監督 阿部敏之)



開催の挨拶をする佐々木雄太学長



元気なプレイでグラウンドを駆けまわる小学生



元Jリーガー阿部監督から優勝チームに優勝杯が

～市邨校～

## 杉本さんがフェアリージャパンの一員に

高校2年生の杉本早裕吏さんが、新体操の日本代表「第9期フェアリージャパンPOLA」に選ばれました。9人のメンバー中、国際大会に出場登録されるのは6人。さらに実際に演技ができるのは5人と、まだまだ厳しい選抜が待ち構えています。今のところ出場登録の6人に入る位置を勝ち取っているとのこと。また、中学2年生の竹中七海さんが、日本代表の次に位置づけられる「団体補充候補練習生」に選ばれました。ロンドンオリンピック体操の寺本さんに続いて、世界を舞台に活躍する生徒の出現を大変嬉しく思います。

2016年、リオのオリンピックでの3人の出場が楽しみです。名経大の皆さんも、どうぞご声援をお願いいたします。



華麗な演技で観客を魅了する竹中さん(左)と杉本さん

水谷さんが3年間、磨き上げてきた語学力が、全国の舞台上で評価されました。今回の大会では出場47名中、私立高校からは、わずか4名の出場でした。その中で、このような栄冠を水谷さんがつかんでくれたことは、本校にとって大変誇らしいニュースになりました。全商協会草創期の中心の一人であった市邨芳樹先生も、商業科の伝統を受け継ぐ総合コースから、個性を専一に磨き、輝かしい成果を上げた生徒が現れたことをきっと喜んでくれることでしょう。



カップを手に笑顔の水谷さん

## スケートでも期待の新星が登場!

部活動ではありませんが、スケートで素晴らしい才能をもつ生徒が現れました。まず、スピードスケートで、中学1年生の井上弥佑人さん、吉永一貴さんが全国中学校スケート大会に出場しました。2人ともショートトラックの選手ですが、全中大会ではショートトラックの種目がないため、スピードスケートでの出場となりました。とりわけ、吉永くんはショートトラックでは全日本で6位入賞と、早くも韓国・平昌(ピョンチャン)で開催される2018年の冬期オリンピック出場が有望視されている期待の新星です。また、高蔵校卒の鈴木明子さんをはじめ、愛知県から数多くの有力選手を輩出するフィギュアスケートにも、これからの活躍が楽しみな選手がいます。高校1年生の松田侑季さんがインターハイに、中学2年生の森千夏さんが全国中学校スケート大会にそれぞれ出場しました。 ※文中の学年は平成24年度の学年です。

～高蔵校～

## —地域に根ざし開かれた学校を目指して— 伝統の公開選択講座を開催

第14回公開選択講座の歴史は、学習指導要領の改訂に伴う総合学習の導入から始まりました。当初は約20講座でスタートした公開選択講座は年々規模を拡大し、14回目を迎える今年度は、53講座と初年度の約2倍となりました。講師は、本校教員をはじめ、地元企業の方々や地域でさまざまな取り組みをされている方々に幅広くご協力いただいております。参加する側も本校生徒だけでなく、保護者や地域住民の方々にも開放し、数多くの皆様が参加されています。こうした実践が継続され発展拡大しているのも、地域の方々や地元企業の皆様のご支援のおかげだと思います。

本校生徒にとりまして、外部の講師の方々に触れることで、将来の進路も含め、新たな発見をすることができたと思います。

今後、さらに内容の充実を図り、皆様に愛される高蔵、また公開選択講座にしていきたいと考えております。



「Coffee Experience」  
スターバックスコーヒー・ジャパン株式会社



「ミュージカルを体験しよう」NPO法人コモンビート



「馬頭琴を弾こう!」馬頭琴基金会